

type	subject	Ref. No.
HDC	オイルクーラ用ラジエターのメンテナンスについて	AS-DC11-002
		Issued: December, 2011

オイルクーラのラジエターは入口・出口のヘッダーを接続するオイル流路と空冷用冷却フィンから構成されています。
 フィンは非常に薄く、微細な構造となっており、ラジエターのコンディションを適正に保ち、性能を維持するために、定期的な手入れが必要です。

本書はラジエターの清掃、手入れの方法について纏めたものです。

1. 目詰まりの原因除去について

1) 通常の埃、砂、昆虫、羽根等の詰まりは圧縮空気によるブローで除去します。

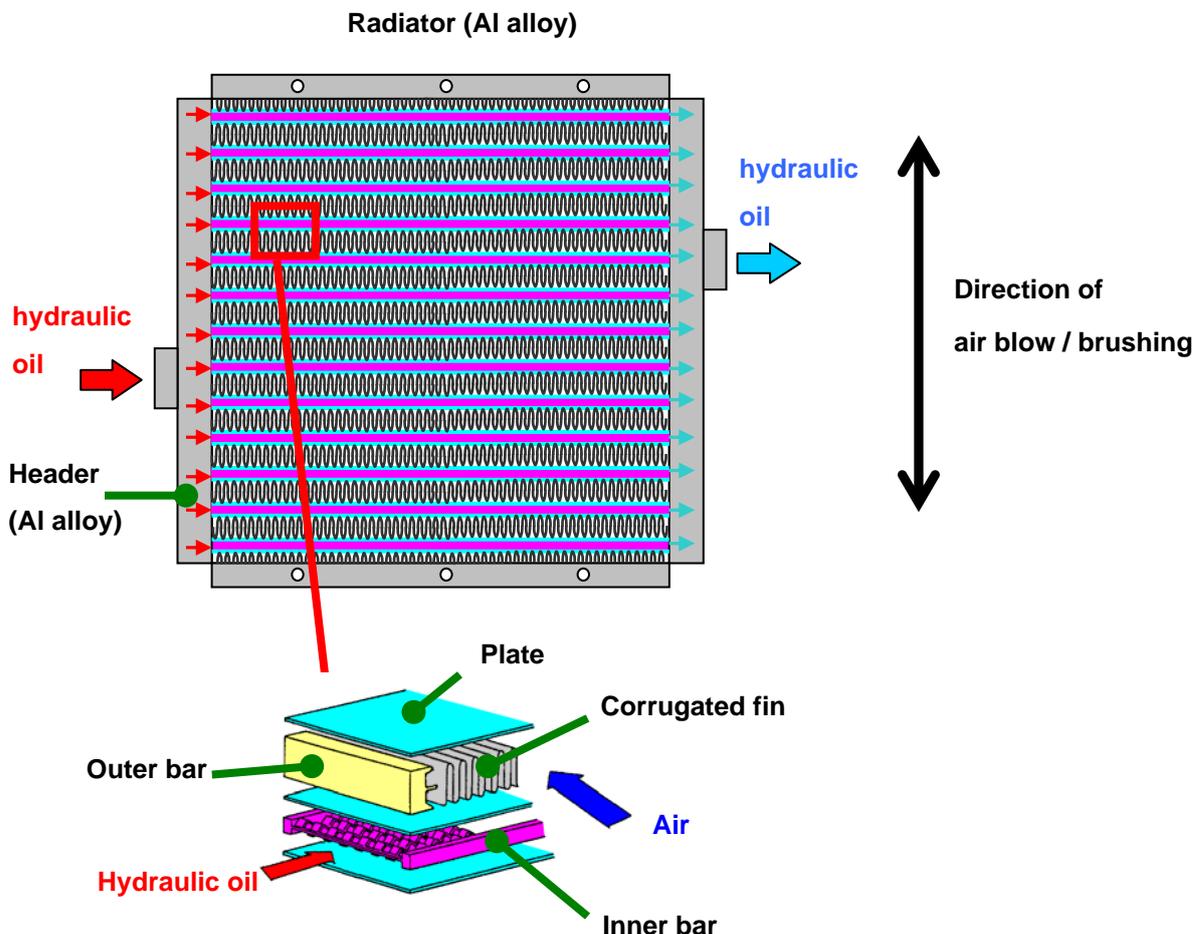
(空気圧: 3-5kgf/cm²G)。

目詰まりがエアブローのみでは解消出来ない場合、水若しくは水蒸気を吹き付け、その後圧縮空気により乾燥して下さい。(他機器の故障の原因となる可能性がありますので、水分が他機器に飛ばないように十分に養生して下さい。)

2) 更に目詰まりの物質に粘りがあり、水や水蒸気で除去出来ない場合は、中性洗剤等を使用して下さい。その後、水で洗剤分を完全に落とし、乾燥して下さい。

それでも除去困難な場合は、ラジエターを取り外し、水若しくは中性洗剤の中に一定時間浸して除去して下さい。

3) ブラシの使用はラジエター表面のコーティングを傷つけてしまう可能性がありますので避けるようにして下さい。



2. 腐食成分の除去について

大気中の腐食物質や海水に含まれる塩分等の付着はラジエターの早期腐食の原因となります。水の吹き付けによる定期的な清掃は必ず実施して下さい。

3. フィンの変形(たおれ)の修正について

フィン表面が外力等により変形した場合へら形状の道具(厚み約0.5mm～0.8mm, 幅約8.0mm)を使用し, 慎重に修正して下さい。

本件問い合わせにつきましては, 下記のサービス窓口に御連絡下さい。

三菱重工業株式会社 下関造船所

原動機事業本部 下関原動機営業部 原動機営業課

田辺, 後河内, 林

Tel: 083-267-7094 / Fax: 083-266-8173

E-mail: yoshiyuki_tanabe@mhi.co.jp / masahiro_ushiroguchi@mhi.co.jp
koji4_hayashi@mhi.co.jp